



八卦台

No. 9

平成30年1月1日
男鹿市立潟西中学校

潟西中・平成三十年の計

「一年の計は元旦にあり」の続きに寄せて

校長 森山 直人

明けましておめでとうございます。皆様方には、新たな希望と抱負をもって、新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。「新しい一年を迎えるに当たり、その一年になすべきことを、年の初めの元旦（元日の朝）にきちんと計画を立てることで、その一年が有意義な一年になる」という意味で用いられます。

新年に当たり、諸説あるこのことわざの由来の中から、中国の書物「月令広義」（げつりょうこうぎ）にまつわる説を紹介します。「月令広義」は、明の時代の学者、馮慶京（ひょうおうきょう）が中国の伝統的な年中行事や儀式、しきたりなどについて著したものです。その中に「四計」（生活を充実させるための四つの計画）について触れています。

【四計】

- ① 一日之計在**晨**（一日の計は晨（あした）にあり）
[意味] 一日の計画は朝にきちんと立てなさい。
（晨：朝のこと）
- ② 一年之計在**春**（一年の計は春にあり）
[意味] 一年の計画は元旦に立てなさい。
（春：中国歴の正月のこと）
- ③ 一生之計在**勤**（一生の計は勤（つとめ）にあり）
[意味] 一生は、まじめに働くことで決まります。
- ④ 一家之計在**身**（一家の計は身にあり）
[意味] 一家の将来は健康で過ごすことで決まります。

この①②を合わせて「一年の計は元旦にあり」の由来であるというのがその説です。そして、③④につながるということは、「一年の計は元旦にあり」には続きがあったということになります。

潟西中ホームページのご案内

潟西中のフレッシュな情報をお届けしています。HP内の学校ブログ「潟中DAYS」は随時更新中です。学校報で紹介しきれない情報も発信していますので、是非ご覧ください。携帯・スマホでご覧になる場合は、右のQRコードをご利用ください。



③④の意味も含めて「四計」の意味を私なりに解釈してみると、「一年の目標や計画を元旦に立てましょう。そして、それを積み重ねた一生は、計画に基づいて懸命に取り組むかどうかで決まります。そして、あなたの周りの人の幸せは、あなたが心身ともに健康で過ごすことにかかっています。」と言えるのではないかと思います。

そこで、このことわざの意味を踏まえ、潟西中としての平成三十年の計を立ててみたいと思います。

【潟西中・平成三十年の計】

潟中生一人一人に確かな学力を身に付ける指導を日々積み重ね、そして、健やかな心と体を育みます。また、それらを支えるべく、今年度大きく動き始めたコミュニティ・スクールとしての役割を果たし、地域の元氣と幸せの発信源・潟西中を目指します。

今年度も、地に足をしっかりと付け、「潟西中・平成三十年の計」を軸に、生徒一人一人の成長を保障する教育活動を、職員一同積み重ねてまいります。今後とも、潟西中学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

さて、3年生は、冬季休業中に私立高校の推薦入試が始まります。いよいよ本格的に受験に立ち向かうこととなります。これまで培ってきた学力、体力、精神力をもって、力強く、たくましく、自らの手で未来を拓くべく、それぞれの目標に挑み、合格を手にすることを願います。1、2年生は、来る春に向けて、学力、体力共に、しっかりとエネルギーを蓄える時期です。自分に厳しく、日々の努力を積み重ねていきましょう。潟中生全員が益々飛躍する一年になることを期待しています。



八卦台NiceShot!

天気の良い冬の早朝、校舎側から駐輪場に目を向けると、太陽と真っ白な雪が作り出す切り絵のように繊細でドラマティックな景色を見ることができます。

🏆 栄光の足跡「真善美」を具現する潟中生の活躍

☆平成29年度男鹿市学校保健会表彰☆11月28日 男鹿市中央公民館

- 【健康生活推進児童生徒】石川 乃愛
- 【歯の健康な児童生徒】小玉 伶奈

☆第6回小玉杯男鹿市交歓バスケットボール大会☆12月3日 若美総合体育館

- 【第3位】潟西中学校バスケットボール部
- 【優秀選手賞】杉本 千尋

☆秋田県相撲連盟表彰☆12月10日 秋田パークホテル

- 【栄光章】石川 乃愛
- 【奨励賞】石川 乃愛、石川 玲愛

☆男鹿市児童生徒美術展☆11月28日 ハートピア・ギャラリー

- <立体的部>
- 【優良】児玉真里衣、吉元くるみ
- <平面的部>
- 【優良】杉本 千尋、石川 玲愛、佐藤 瑞季、薄田 紫苑
- 【佳作】佐藤 愛美



※ 優良に選ばれた作品は、1月6日～9日まで県立美術館行われる秋田県児童生徒美術展で展示されます。

12月の潟中Topics

※詳細については、潟西中ホームページ内「潟中DAYS」をご覧ください。

◆ 5日 PTA挨拶運動

今年度も6月から12月までの間に計6回、PTA挨拶運動を行いました。いつも参加してくださる男鹿署少年係の佐藤様、男鹿市防犯協会の皆様、生活安全委員会の生徒に加え、12月は鶴木地区の皆様がご参加くださいました。当日は風も強く、体感温度は0℃近くでしたが、どの生徒も玄関近くで一度立ち止まり、大きな声で挨拶できました。今年度は、今回が最後の挨拶運動になりますが、来年度も地域や保護者の皆様のご参加をこれまで同様、よろしくお願いたします。



◆ 8日 新入生体験入学・保護者説明会



来年度の入学に向け、美里小6年生15名と保護者の皆様を対象として実施しました。

生徒会長の歓迎の言葉の後、生徒会執行部の1年生が中学校生活についてプレゼンテーションをしました。1年間、潟中生として過ごしてきた自信にあふれ、先輩らしく説明することができました。また、潟中祭で披露したミュージックビデオも編集し直して紹介しました。6年生は興味津々、目を輝かせて真剣に聞いていました。

続いて学校生活のきまりや制服についての説明がありましたが、ここでは保護者の方々が真剣に耳を傾け、積極的に質問をしてくださりました。親子共に4月の入学式を心待ちにしていることが伝わってきました。

最後は部活動の体験です。各部の部長やキャプテンが6年生を案内し、一緒に練習をしました。潟西中の1年生も先輩の気持ちを少し味わったようです。

美里小6年生と潟西中生徒・職員との記念すべきよい出会いの日になりました。

1月の行事予定

1	月	元日
4	木	3年実力テスト
7	日	部活動休止日 市成人式
8	月	成人の日
11	木	市児童生徒書き初め大会展覧会（～16日）
14	日	男鹿市民吹奏楽団定期演奏会
15	月	休み明けテスト 3年実力テスト 学校安全日
17	水	職員会議 部活動休止日
21	日	部活動休止日
24	水	基礎テスト 部活動休止日
25	木	学校納金振替日

自分の考えを自分の言葉で語る

12/20「総合的な学習の時間」全校発表会

探究活動の過程を通して、様々なものの見方や考え方、よい伝え方や聴き方などを身に付けることを目標に、「1年：防災」、「2年：働くこと」、「3年：福祉」をテーマに、総合的な学習の時間の学習に取り組んでいます。今回はその成果を全校の前で表現する全校発表会でした。1年生は課題ごとに分かれて全員発表、2、3年生は学年発表会で選ばれた個人5～9名の代表の発表となりました。プレゼンテーションやビデオ、手作りの紙芝居等を活用した発表には、自分の考えを自分の言葉で分かりやすく伝えるための様々な工夫が見られました。また、学んだことを踏まえて、自分の生き方について語った生徒の姿には、成長の跡が感じられました。

<観覧してくださった方々からの感想>

☆3年生の発表では、私自身知らないことばかりだったので、とても勉強になりました。（保護者）

☆自分で調べたことを自信をもって発表していた。このような機会をもつことは大変よいことだと思う。（学校運営協議委員）

☆発表を聞く生徒が真剣にメモをとっていたよかったです。（委員）

☆どの会場でも、話を聞く姿勢、会の進行、感想発表など素晴らしかった。皆、真剣に参加していると思った。（委員）

☆防災の発表で、最後の「僕は生き延びます」という宣言に、力強さを感じた。（委員）



🏀 学年を超えて関わり合い、競い合った球技大会・大成功！！



開会式に花を添えた各学年代表による選手宣誓



根性でシャトルにくらいつ選手

11月29日、潟中3大行事の一つ、生徒会執行部主催の校内球技大会が行われ、バスケットボールとバドミントンで全校生徒が気持ちいい汗を流しました。

開会に当たり、生徒会長から「1年生だからといって遠慮しないでください。」「3年生は3年生のプライドをかけて頑張らしましょう。」という激励の言葉がありました。引き続き1年の船木涼太さん、2年の西方琉さん、3年の斎藤瑠香さんが息の合った力強い選手宣誓をしました。

バドミントンは、各学年からペア6組、全18組のダブルスによる総当たり戦で勝敗を競いました。バスケットボールは、各学年2チーム、計6チームによる総当たり戦で、制限時間内の総得点数を競いました。和気あいあいとした雰囲気の中にも真剣な勝負で、学年を超えた交流ができました。

バドミントンで優勝したのは、なんと1年生のペアでした。スマッシュが気持ちよく決まっていた。バスケットボールの優勝は、速攻で得点を重ねた3年生のチームでした。さすがの貫禄です。

新生徒会新執行部による初企画であるこの大会が成功に終わったことで、執行部役員は達成感と自信を得たようでした。

学年を超えて仲良く関わり合って汗を流せるのは、潟西中ならではの貴重な校風です。このあとも、ずっと受け継いでほしいものだと思います。

当日の様子や試合後の全選手の笑顔あふれる写真は、職員室廊下に掲示してあります。ご来校の際は、どうぞご覧ください。



バドミントンで下克上を起こして優勝した1年の結輔さんと満輝さん



バスケットボールで優勝したチーム嵯峨のメンバー